

うぐいす



◆ 新年度を迎えて

病院長 宗像 秀樹

新年度は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の大きな影響のもとに始まりました。

4月7日の夕、我が国でも安倍総理が7都府県の緊急事態宣言を行いました。幸い岩手県は、4月21日時点で患者さんの発生をみておりません。新幹線が通っているにもかかわらずです。田舎だからでしょうか？外出禁止要請を守る真面目な県民性でしょうか？

今年度の医師交代は、総合診療内科 樽本高壽先生、総合診療外科 伊瀬谷和輝先生を送り、泌尿器科の田村大地先生・神崎成子先生、総合診療内科として薄田海先生を迎えました。仲良く、楽しくやっています。

加えて7人の新採用職員・11人の転入の職員を迎えました。COVID-19 感染拡大防止のため病院全体の歓迎会はありませんでしたが、この国難ともいえるコロナ禍を乗り越えたら、盛大にやりたいと思います。（千厩夏まつり前にはやりたいなー。）

千厩病院は、地域病院として急性期病院と自宅を結ぶ役割を担っていかなければなりません。少ない医師数で、いずれの職種もギリギリの人員で働いています。

昨年からの入院患者減少が回復せず、病棟再編・病床削減等を考えております。住民の皆様にご迷惑をおかけしないように継続可能なかたちに変えていきたいと思っています。

両磐地区の COVID-19 対策として、磐井病院と協力して、感染症病床を「無症状 PCR 検査陽性者と軽症者（低酸素血症を呈さない者）」と「それ以上の中等症・重症」を分担して担当する方向で磐井病院呼吸器内科医師と話し合っています。

県からは未だ指針がでていませんが、県立病院院長会から早急な入院提供体制（病院の指定、重症度別、職員派遣、宿泊施設等）の準備をと要望しています。

徳川家康は『不自由を常と思えば不足なし』という言葉を残しています。

私は、何事もそれが普通になれば、頑張れるということだと理解しています。

昨年の流行語ではないですが、千厩病院はワンチームになって千厩病院の火をともし続けていきたいと思っています。両磐地域もワンチームで頑張りましょう。

本誌の内容

- 1P 宗像秀樹院長 挨拶
- 2P 新任医師の紹介・マスクの寄贈について・千厩病院地域医療懇談会について
- 3P 決定！令和元年度所属長表彰
- 4P 感染管理室から



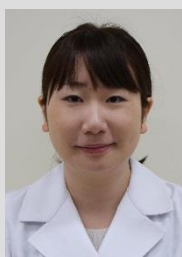
よろしく
お願いします。

新任医師の紹介



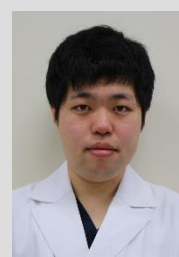
田村 大地
泌尿器科医長

医療政務室より着任



神崎 成子
泌尿器科医長

県立中部病院より着任



薄田 海
総合診療内科医師

県立中央病院より兼務
(4月のみ)

マスクのご支援ありがとうございます



令和2年4月28日(火)13時、応接室において「千厩ロータリークラブ」様(会長菅原三郎氏と谷藤正人氏ご訪問)より「医療用マスク2,000枚」を寄贈して頂きました。

「大変助かります、これからますます必要になりますので大切に使用させていただきます。」と宗像院長から感謝の意を伝えました。



令和2年

千厩病院地域医療懇談会開催についてのお知らせ

千厩病院では、毎年6月頃に、当院の病院運営の現状を地域の皆様に説明し、ご意見・ご要望などお伺いする懇談会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため開催が未定となっております。

日程等が決まりましたら、院内ポスター掲示、千厩病院ホームページ、一関市広報誌「I-Style」(掲載予定)などでお知らせいたします。ご確認ください。



【問合せ先】地域医療福祉連携室 担当：鈴木

千厩病院ホームページアドレス

<http://www.senmya-hospital.jp>

検索 カチ

千厩病院Eメールアドレス

Email:ea1012@pref.iwate.jp

決定！ 令和元年度 所属長表彰

令和元年度は次のとおり3部門(団体)が所属長表彰を受けました。令和2年2月26日(水)に授与式が行われましたのでご紹介します。

1. 看護補助者会

(代表 リーダー 吉田 恵子)

看護補助者の業務は看護師の指示の下に行うと規定されているが、「自主性」をキーワードに「患者・家族・看護師のために自分たちができることは何か」を考え取組んだ。その取組について「自部署アピール報告会」での成果発表を通じ、チーム医療の一員としての自覚を醸成するとともに、情報共有して各部署のさらなる業務改善の参考とするなど自主的に取組んだ。



2. 透析室

(代表 岩本礼子副総看護師長
代理 菅原 美由紀)

大規模災害が毎年発生する中、「災害時透析患者指導マニュアル」等を整備するとともに、他職種・他施設との連携による災害時の患者指導・訓練など、患者参加型災害訓練を継続的に実施し、患者の不安軽減につなげた。また、参加できなかった患者には、訓練を撮影したDVDを透析時間を利用して放映し指導に活かした。



3. 栄養サポートチーム

(代表 リハビリテーション科長
伊瀬谷 和輝)

栄養サポートチームは患者の栄養面を多職種で支援してきた。今年度活動に積極的な医師と管理栄養士が資格を取得し、栄養サポートチーム加算の要件である、専任の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の配置が可能になり、8月に算定を開始してから算定件数を増やし、12月末現在では月平均30件程度算定できるようになるなど、今後も収入確保が期待出来る。



授与式では宗像秀樹院長から当該3部門(団体)の各代表に表彰状と金一封が授与され、表彰の趣旨(成果の概要と表彰の理由)と感謝の意及び今後の業務への期待等の言葉が述べられました。その後各団体の代表から謝辞と新たな決意が述べられました。

表彰を受けられた各部門の皆さん、おめでとうございます。

この表彰は、業務改善等により優秀な成果・業績をあげた各病院職員等をそれぞれの病院長が表彰し、職員の意欲・満足度の向上に資することを目的として平成17年度から「医療局所属長職員表彰実施要領」で制定されたものです。

《 感染の仕方 》

一般に飛沫感染・接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大するリスクがあるとされています。

飛沫感染・・・感染した人の飛沫（くしゃみ・せき・つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻で吸い込んで感染。

接触感染・・・感染した人はくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触れることで、さらにウイルスが手に付着し感染します。

《 3密を避けて 》

3密（密閉→換気の悪い空間・密集→多数が集まる場所・密接→間近で会話が発生をする場面）を避けて、大切な人を守るため週末やゴールデンウィークは不要・不急の外出を控えてください。

世界を襲っているコロナ禍を皆さんで、共に乗り越えましょう。

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

（一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変）令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

- ◆ 個室にしましょう。食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

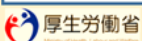
マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ◆ マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗きましょう。（アルコール手指消毒剤でも可）

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。



換気をしましょう

- ◆ 定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ 共用部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。
 - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
 - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。
- ◆ トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。
 - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
 - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ 洗浄前のものを共用しないようにしてください。
 - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ 体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。
 - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ 鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。

《 お願い 》

新型コロナウイルス感染症を疑う場合は接触者相談センター（電話番号：019-126-1415）へ相談してください。直接、病院への来院はお控えください。病院への来院時はマスクを着用してください。



岩手県立千厩病院

<http://www.senmya-hospital.jp>
Email: ea1012@pref.iwate.jp

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

病院理念 「すべての人びとに安らぎと希望を」

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会